

北部地方振興事務所 NNだより



「大崎耕土」の持続可能な水田農業と伝統的水管理システムが世界農業遺産に認定!

認定までの動き

平成29年 3月14日

- ・「日本農業遺産」認定
- ・「世界農業遺産」認定申請の承認（国内審査通過）

平成29年 9月 8日

- ・農林水産省を通じてFAOへ申請

平成29年10月30日

- ・FAO世界農業遺産科学助言グループ委員による現地調査

平成29年12月12日

- ・FAOが大崎地域の世界農業遺産認定を発表



江合川、鳴瀬川の流域に広がる水田農業地帯として発展してきた大崎地域（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）が世界農業遺産に認定されました。大崎地域の世界農業遺産認定は、国内9カ所目の認定となりますが、今年3月に認定された「日本農業遺産」に続き、東北・北海道初の認定となります。

中世以降、取水堰や隧道・潜穴、水路、ため池などの水利施設を流域全体に築き、冷害や洪水、湯水を「巧みな水管理」により克服しながら良質米を生産する豊饒の大地「大崎耕土」を形成してきました。また、農業が育ててきた豊かな農文化、水田や水路、水田の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根」^{いぐね}は、豊かな湿地生態系を育み、多様な動植物が存在する独特の農村景観を形成してきており、これらの全てが「生きた遺産」として世界的に評価されました。

第12回 内川水土里の路ウォークを開催しました

平成29年10月7日、大崎市岩出山において「第12回 内川水土里の路ウォーク」(主催:水土里ネット大崎, 共催:大崎市, 宮城県北部地方振興事務所, 後援:水土里ネットみやぎ)が開催されました。今年は、「内川の世界かんがい施設遺産登録」、「大崎耕土の日本農業遺産認定」、「伊達政宗公生誕450年」を記念し、例年のウォークに加え、1.ダム見学コース、2.甲冑コース、3.生き物調査コースを設けましたが、当日は雨天のため、残念ながら生き物調査コースは中止となり、2つのコースで行いました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました!



環境水文気象学現地視察を開催しました

平成29年11月16日、宮城大学食産業学部環境システム科3年生25名が環境水文気象学現地視察に訪れ、農業農村整備事業や農業農村整備部の仕事の内容の説明を受けた後、現在工事を実施している農地整備事業蕨栗沼地区の伸縮揚水機場の現場を見学しました。



農業農村整備事業学習会を開催しました



平成29年12月11日、小牛田農林高校の農業土木コース1年生40名を対象に農業農村整備事業学習会を開催しました。今回は高校で農業農村整備事業についての講義の後に「若者が農業を始めたいと思う環境をつくるために農業土木の技術がどのように役に立つか」というテーマでグループワークを行い、「ほ場整備事業を積極的に実施する」、「高齢者が若者に対して技術の伝達をする」など様々な意見が挙げられました。今回の学習会をきっかけに農業農村整備に興味を持っていただけたかと思えます。

水の恵みカードを作成しました



水の恵みカードとは、地域の農産物と農業水利施設を分かりやすく説明したカードで、全国の直売所や市役所、宮城県の地方振興事務所農業農村整備部などで配布していますので、ぜひ集めてみてください! 北部管内の水の恵みカードでは出来川右岸地区の「仙台小ねぎ」と「岩堂沢ダム」について紹介しています。

配布場所

- ・宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部内
- ・わくや産直センター黄金の郷(涌谷町涌谷字中江南222, わくや天平の湯内)

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部

〒989-6117 宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL 0229(91)0701(代)

FAX 0229(23)5014

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/>

編集:計画調整班



仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸